



# 第三中学校だより

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ~新時代を生きる力を創造する~

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1  
TEL 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>  
なやみごと相談メール [j3-3chu@wako-city.ed.jp](mailto:j3-3chu@wako-city.ed.jp) 相談室 TEL461-6698

令和5年7月3日発行

## 先人(先輩)から学ぶ

校長 近藤 克代



本校の給食は、校内にある給食調理室で8名の調理員が作っています。献立は、栄養士が生徒の成長状況に合わせ栄養価をバランスよく摂れるメニューと、食育の観点も十分に考えられています。日本各地の郷土料理や、旬な野菜等を積極的に取り入れているので、時折、給食から風土や季節を感じることができます。まさに、本日（7月3日）は、早朝より和光市の農家から収穫された新鮮な夏野菜の代表であるトウモロコシを、朝早くから給食委員会が中心となり皮むきの手伝いをし、給食を通じて「夏」を感じることができました。

さて、6月17日から開催された学校総合体育大会朝霞地区大会（結果は裏面を参照）は多くの方が駆け付け、一生懸命に声を出し選手を応援してくださいました。この光景は久しぶりでしたが、生徒の様子から多少の緊張はありましたが、堂々と試合に臨むことができたのは、ベンチや観覧席からの声を力にしていたからかもしれません。しかし、私が印象的だったのは、コートやグラウンドで試合に出ている生徒だけではなく、その姿を陰で支え、選手がプレーに集中できるよう努めていた控え（後輩）の生徒の様子です。そして、こういう姿を、きっと選手自身が後輩（控え）の時にしてきた行動が引き継がれているのだろうと思いますが、人が何かに憧れや目標を持つことは、このように人とのかけがえがきっかけになるのです。



7月6日（木）には、2年生がキャリア教育の一つとして「職人から学ぶ」をテーマに、出版関係、IT企業、助産師、研究員、公務員、落語家、スポーツトレーナー、理学療法士、幼稚園教諭、データサイエンティストの10名の各分野の現役関係者から、直接、「仕事」について話を聞き、質問をしながら「職」について学ぶ機会を設けました。これまでのスキルトレーニング等の準備と、当日の先輩（講師の方々）から学んだことが、生徒自身や将来についての新たな気づきになればと願っています。ところで時代は大きく遡ってしまいましたが、埼玉県の偉人には、数々の困難を乗り越え、決して諦めなかった信念が、現在の私たちの生活に繋がっています。例えば、荻野吟子は自身が病になり女性の医師が必要と感じて女性が医学を学ぶことが許されない時代に日本で初の女性医師となり、そして、塙保己一は病で盲目となりましたが必死に学び、盲目でありながら多くの書物をまとめた群書類従（ぐんしょりじゅう）を編纂し日本を代表する国学者となりました。多様性が重視された現在から当時の苦労は想像もできないかもしれませんが、彼らにも、自身の心を動かしてくれた人に出会ったことや、きっかけが必ずあり、挑戦することを支えてくれていた人がいたことは間違いのないと思います。

中学校という限られた環境や時間の中で、生徒が自身の将来について、または生き方についてより深く学ぶことは難しいかもしれませんが、様々な活動を経験し、見たり聞いたり、考え・想像することで、新しい目標や挑戦が見つかるきっかけになればと、1学期を振り返り思っております。